


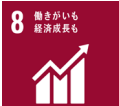


食のビジネスを通じて持続可能な社会の実現に貢献する

重点課題	活動テーマ	達成に向けた施策	基準年度 (2021年度)	中間目標 (2022年度見込み)	目標 (2030年)
環境  エネルギーをみんなに そしてクリーンに  つくる責任 つかう責任  気候変動に 具体的な対策を	環境に配慮した設備の更新 (CO2排出量削減)	<ul style="list-style-type: none"> ・社内照明設備のLED化 ・冷凍機の冷媒を代替フロ（R22）から、自然エネルギー（CO2、NH3）を用いた設備への更新 	【電気使用量】 1335.8kwh / 百万円 （製造高） 【冷凍機】 0機 / 5機 【照明】 65機 / 142機	【電気使用量】 990.2kwh / 百万円 （25%削減） 【冷凍機】 1機/5機（20%更新） 【照明】 76機 / 142機 （50%更新）	2021年度対比 電気使用量45%削減 すべての冷凍機・照明 設備の更新
	食品廃棄物の削減や活用	<ul style="list-style-type: none"> ・製造工程の自動化によるロスの削減 ・自社直販による規格外品の販売 ・完全受注による製造への転換 ・製造工程でのロス削減（既製品パーツ以外での開発） 	【廃棄量】 31.26kg / 百万円 （製造高）	【廃棄量】 27.45kg / 百万円 （12%削減）	[2021年度対比] 35%削減 （20.0kg / 百万円）
	インボイス制度の導入 (ペーパーレス化の推進)	<ul style="list-style-type: none"> ・伝票の電子化 ・製造現場でのタブレット導入 ・F A X の電子受信 	【購入数量】 約100,000枚 / 年	【購入数量】 約50,000枚 / 年 （50%削減）	[2021年度対比] 80%削減 （20,000枚 / 年）
働き方  働きがいも 経済成長も	全社員が活躍できる労働環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ・適正な労働環境の整備 ・社員の健康増進 ・ワークライフバランスの実現 	<ul style="list-style-type: none"> ・残業時間の削減 ・働き方改革の実施 ・製造現場でのタブレット導入 ・ISO9001の仕組みを利用した社内向け整備（従業員も大切な顧客と捉える） 	【月間残業時間平均】 22.4h	【月間残業時間平均】 21.3h （5%減）	[2021年度対比] 残業時間30%削減

※当社のCO2排出の約9割以上が電気の使用に由来しております。そのため、電気使用を抑制することがCO2の削減につながると考えエネルギー効率の良い設備絵の更新、「省エネ」に努めてまいります